

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業) 平成26年度事業

平成26年11月12日

協議会・構成員 武豊町地域公共交通会議

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
記載要領	【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】 ※評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること	【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両原価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】	【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】 A ・ B ・ C ・ 評価 記載例①: 計画どおり事業は適切に実施された。 記載例②: 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。	【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】 A ・ B ・ C ・ 評価 記載例①(確保維持事業): ・目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載) 記載例②(改善事業): 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】 ※ なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)	知多乗合(株) 基幹線 右廻り(緑)	地域内フィーダー	A 計画通り事業は適切に実施されている。	B 11年間の利用者数による目標値16,200人以上に対して、6,717人の実績があり、目標値を上回った。ただし、赤・青ルートの利用者数と比べ利用が少なく、極端に利用の少ない停留所が存在する。	地元協議を行い、赤ルートと重複し利用の少ない停留所等が存在することから、赤ルートと統合する事業変更を行う。
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)	知多乗合(株) 基幹線 左廻り(緑)	地域内フィーダー	A 計画通り事業は適切に実施されている。	B 11年間の利用者数による目標値14,450人以上に対して、5,405人の実績があり、目標値を上回った。ただし、赤・青ルートの利用者数と比べ利用が少なく、極端に利用の少ない停留所が存在する。	同上
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)	知多乗合(株) 北部線(赤)	地域内フィーダー	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 11年間の利用者数による目標値14,850人以上に対して、15,461人の実績があり、目標値を上回った。事業開始以降順調に増加しており、住民が集うサロンでのPRなど、これまでの利用促進対策の効果が認められる。	地元協議を行い、緑ルートとの事業統合を行う。また、隣接する半田市の大型商業施設への乗り入れを行い、さらなる利用者増を目指す。
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)	知多乗合(株) 南部線(青)	地域内フィーダー	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 11年間の利用者数による目標値17,100人以上に対して、8,167人の実績があり、目標値を上回った。24年度にいったん利用者数が減少したが、それ以降順調に増加しており、利用促進対策の効果が認められる。	地元協議を行い、利用の少ないバス停留所を移設し、ルート変更を行うことで、さらなる利用者増を目指す。

※目標達成の分析のH26年度の実績値は、H25年10月～H25年9月の12月間のデータに基づく。